

# 第66回日本原電前抗議行動報告



## プログラム

- ・開会のあいさつ
- ・主催者あいさつ
- ・参加者スピーチ
- ・申入書読上げ
- ①首都圏連絡会 原発
- ②反原発自治体議員・市民連盟
- ・脱原発スピーチ
- ・日本原電前抗議行動ソング
- ・行動提起
- ・シュプレヒ・コール
- ・おわりのことば

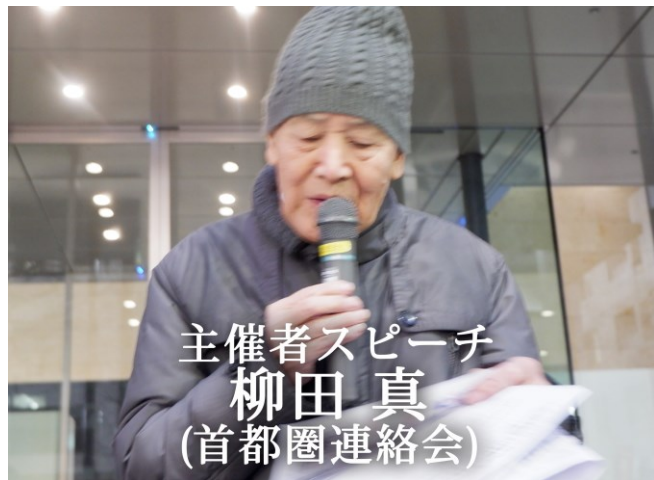
大地震 大津波  
今日起きるかもしれない  
日本が壊滅する前に  
原発やめよう!!

参加者数:67名 ¥100カンパ金額:¥12,141



今回の司会は横田さんにして頂いた。そのあいさつとして、この寒いなか大勢のみなさんに集まって頂いたことをうれしく思うことを伝えて能登半島地震のことに触れ、この地震が東海第二で起こっていたら大変なことになっていた、と話した。

そのうえで、この能登半島地震を今後の東海第二を廃炉に追い込む運動に活かすことを宣言した。



スピーチの要旨  
空が暗くなってきましたが日本原電前にお集まりのみなさま、ご苦労様です。今日が第66回目ですね。みなさんと5年以上にもわたりこの日本原電前で訴えてきました。私は首都圏連絡会の世話人でもあります。同時にたんぼぼ舎の出身でもあります。

みなさんには2枚お配りしました。1枚は大地動乱の時代、すべての原発を廃炉にし、2024年の能登半島地震による原発への影響が非常に怖いということでこれをお配りしました。山崎さんの文章です。これはなかなか優れた文章ですのでぜひご覧ください。

もう1枚は東海第二の再稼働工事に最大の欠陥、東海第二原発を廃炉に！、内部告発により防潮堤工事で重大な不備が発覚、この2枚をお配りしました。後で読んで頂ければと思います。

「能登半島地震は怖かったなあ」とみんな思っています。同時に、原発が危ない、かろうじて大丈夫だったと、こういうことですね。実は能登半島の今回の地震が起こった所には珠洲原発という原発がつけられようとしていたんです。

それを地元の原発反対の人たちがしっかり頑張りました。そして珠洲原発は能登半島にできなかった。もし珠洲原発ができていて動いていたら、震源地はその真下ですから悲惨なことになってました。福島事故以上の、膨大な放射線量が出てしまう大惨事になりました。もし珠洲原発ができて稼働していたらこの東京までも放射能がくる可能性があります。ですから珠洲原発をつくらせなかった先人たちの偉大な功績なんです。もしできて動いていたらこの東京までも放射能が飛んでくる、そういう事態になっていたんです。ですから頑張った先人たちに私は大きく大きく感謝したいと思います。

同じような地震がもし東海第二原発で起きたら、あそこも地震が多発して危ないです。あそこで能登半島地震のような大地震が起きたらそして東海第二原発が襲われたら大惨事になります。石川県能登半島の地震が怖い、危ない。だからつけられなかった先人たちの努力が今に生きています。

同じように、茨城県の東海第二原発をつくらせない、このような気持ちでみんなと一緒にがんばりましょう！



スピーチの要旨  
こんにちは、というよりこんばんは、でしょうか。‘放射能汚染水に反対する北区の会’の小林と言います。今日は発言の機会を与えて頂きありがとうございます。私たちは月に一度北区の王子の駅前で原発の街頭行動をしています。また、北区の区議会議員全員に公開質問をしたりとか、近隣の人たちともつながって活動しています。東海第二の一斉行動にも毎回参加しています。

今日はもうみなさんお話をされていますけれども能登半島の地震のことですね。本当に心が痛みます。断水の時に水をもらうために並ばされている姿を見ますと東日本大震災の時に無用な被ばくをさせられてしまった方々のことを思います。道路が寸断されて家屋に閉じ込められた方の救出もままならない。自然災害だけでもこれだけの被害です。これで原発事故が起こったら避難計画通りの避難などできないと多くの方が感じていられることだと思います。地震は日本中どこでも起こり得ます。東京から一番近い問題だらけの東海第二原発を動かそ

うとしていることなど原発に関心のない方でも今なら伝わるのではないかと思います。それぞれの場所で国民的議論を巻き起こしていかなくてはいけないと思っています。

ところでですね、私たちの小さなエピソードですが、私たちの街宣の時のことをお話します。街宣の準備をして横断幕を取り付けようとしているときに小学生の女の子が2人通りがかりました。その時、「放射能汚染水！」って叫んだんですよ。まだ、横断幕を広げてなかったのて文字を読んでのことではなさそうでした。だから以前の私たちの街宣の時に私たちの放射能汚染水っていう言葉を覚えてくれたんじゃないかなって思いました。

で、いろいろと街で街宣していても、「いったい誰に私たちの声が届いているんだろう」って思うこともありましたが、こんなちっちゃなエピソードですけども勝手に、「見える化できてるんじゃないかな」って思っております。

それでは最後に私たちがいつも汚染水を海に流さないでほしい、という思いを込めて歌っている‘海’という歌を歌いたいと思います。あの～今日は東海第二の再稼働反対の運動ですが‘原発NO！’ということでは同じですので歌わせて頂きます。誰もが知ってるメロディーの歌なんですけどちょっと歌詞をみなさんにお配りする準備もできてなくてみなさんにどうやって参加して頂こうかと考えていたんですけど、ちょっとお手を拝借したいと思っています。

この歌は3拍子なんですけど、「海は広いな～大きいな～」と、こんな感じで歌いますのでできれば手拍子をお願いします。(ここから歌)

「海は広いなあ大きいなあ だけど、捨てちゃダメでしょ汚染水～ 海に流した放射能～ 揺れて浜辺に打ち寄せる～ 海の生き物かわいそう～ 知らずに飲み込むトリチウム～ ‘トリチウムだけじゃない！’ 海はつながる～世界中～ 汚すこの国はずかしい～ 海を汚すなこれ以上～ 命つなごう未来へと～ 命つなごう未来へと～」  
ありがとうございました！



申入書読上げ  
志田文広  
(首都圏連絡会)

今回の首都圏連絡会の申入書の読み上げは私(志田)が行った。

まず東海第二原発の再稼働工事における施行不良及びその隠ぺい行為について指摘し、その間に東海村議会において再稼働推進派議員の請願が可決されてしまったことを訴えた。

そしてその欠陥工事は経理的基礎のない原電が工事業者との発注金額において折り合いがつかず2年以上も工事にかかれなかったその遠因ではないのか、と指摘した。

さらには、その東海第二原発には現在、原子炉の脆弱性を検査するための試験片がないことも併せて指摘し、再稼働を断念して廃炉事業に専念することを申し入れた。



申入書読上げ  
けしば誠一さん  
(反原発自治体議員・市民連盟)

反原発自治体議員・市民連盟の申入書読み上げはいつも通りけしば誠一さんに行ってもらった。

まず東海第二原発の欠陥工事について追及しかつその工事の安全が確保されたとして再開していることは規制庁の答弁と矛盾していることを訴えた。

そのうえで今年の元旦に発生した能登半島地震について触れ、地震大国の日本で再稼働工事を再開していることの矛盾を追及した。

そして原電が安全を確保した、とする「耐震性」とは何なのか？と具体的にその安全性というものを説明するよう求め、最後に再稼働工事を中止して今年9月に再稼働することをやめるよう強く要請した。



## 脱原発スピーチ 山崎 久隆さん (たんぽぽ舎・共同代表)

### スピーチの要旨

いまご紹介頂きましたたんぽぽ舎の山崎です。みなさんのお手元に「大地動乱の時代・全ての原発を廃炉に！」というチラシがあると思いますが、今日お話しする内容はおよそここに書いてあることとなります。

現在の日本は大地動乱の時代に突入して久しいです。東日本大震災もその一環ですし、おそらく1986年の日本海中部地震から大激動に入りそのあと1995年に阪神・淡路大震災があり、そして今年正月の能登半島地震に繋がってきました。

で、これを見ていくとどういうことが言えるかといえば、プレート境界型の巨大地震の前後には日本列島の中で地殻内地震が多発するということです。私たちの時間感覚だと何年かに一回まあ、マグニチュード6.5以上の地震に限るならば2年に一回のペースで起きるので何とな

く忘れてしまう人がいるかも知れませんが地質年代という非常に息の長いスパンで考えればもうしょっちゅう地殻が動いている激動の時代だと言っても間違いありません。

今回の能登半島地震では実に4mの高さまで海岸線が隆起しました。85kmにわたって海岸線が200mくらい高騰しているんですね。これをどこの原発でもいいですからあてはめて考えてみてください。原発には放水口と取水口があります。海水を取り込んでタービンやあるいは非常用発電機のディーゼル発電機の冷却を行っている海水ポンプ、こういったものが動いてはじめて原発は冷却が可能です。東海第二だって例外じゃありません。これらの原発立地点で4mも陸地がかさ上げしたら全部引き上がってしまいます。すなわち即座に、即座というのは毎秒1mだそうですから4、5秒で4m、5mの高さまで上がってしまいます。そうなるとうどうジタバタあがいても冷却水が取れませんのでメルトダウンをさけることは極めて困難になります。もちろん、隆起している最中には極めて大きな揺れに襲われるわけですから非常用ディーゼル発電機だってその時稼働するかどうか分かりません。

実際に志賀原発は約400ガルの揺れで揺さぶられたということになっています。ですがすでに止まっていたので実は様々な不具合、異常が起きていても顕在化していないんですね。その中の一つに実は主タービンの軸が伸びた、というのがあります。これはどういうことかという高速で回転しているタービンの軸が延長方向に引

張られて伸びたというんです。そんなことがもし運転中に起きていたらどうなっていたかという、回転しているタービンの羽根が様々な所に激突してタービンミサイルとなって爆発していたでしょう。そのくらいに激しい揺れに襲われていたならば、志賀原発が稼働していたならば、取水ができなくなり、さらにタービンミサイルとなって羽根車の羽根が様々な所に飛び散りそして原子炉の冷却が不可能になり、当然非常用電源も含め変電設備は火災を起こし、福島第一原発事故よりひどい、瞬時に爆発するような、そういう事態になっていてもおかしくはなかったんです。たまたま今回の志賀原発は止まっていたし、長時間止まっていたまあ、2012年から止まっていますので使用済み燃料プールの燃料も冷えていて冷却水が空っぽになっても12日間くらいは燃料は溶けださないと想定されていました。そういう原発ばかりであればメルトダウンしない可能性は高いでしょうが、運転中の原発で今回の能登半島地震のような直撃を受ければどんな原発ももつはずはないのです。

しかも先ほど言いましたように日本列島は大地動乱の時代にさしかかり、これから動くであろう可能性のある断層をいくつか挙げてみるならば、例えば玄海原発のすぐそばにある警固(けご)断層、それから浦底断層、これは敦賀原発のすぐそばを通っています。さらに熊川断層、これは高浜原発のすぐそばを通っています。さらに山崎断層系、それから伊方原発の真下にある中央構造線、そして東海第二原発の真下にある断層群、これらも大きなプレ-

ト境界地震によってストレスがかかっていますので何か引き金になればたちまちマグニチュード7~8の地震を引き起こす潜在的なエネルギーを蓄えています。

これから20~30年のうちにおそらく南海トラフ地震が起こるでしょう。その前後にはそういった内陸地殻内地震が多発し、うちのいくつかは現在稼働中の原発の真下で活動する可能性は確率的にも高くなってきているんです。

今やらなければならないのは原発を止める、冷やす、閉じ込める、これは運転している電力会社の言葉ですが電力会社は運転中の原発が地震に遭遇した場合、こうして止めるから安全だと言うんですが私たちの要求は今から原発を直ちに止めて使用済み燃料をプールに移し、その中で冷却をする、そのための冷却水の注入ための設備だけを特化して強化する。そして閉じ込めるは使用済み燃料の安全な管理方法をみんなで考える。そして燃料体そのものを閉じ込める。そういう対策を原発が立地している住民や私たちと一緒に考えてすぐに出ていかなければ20年30年はすぐにやってきます。

また、南海トラフ地震が20年30年待ってくれるという保証もありません。明日来るかもしれない、そういう中ですぐにでも対策を進めていかなければならない時に、東海第二の再稼働を模索していることなど論外だと最後に強調してお話を終わりたいと思います。以上です。



今回の日本原電6人衆の音楽は、  
 ♪1.世論小唄原発2024 (与論小唄)by  
 ジョニー・H  
 ♪2.泳げ自民党(およげたいやきくん)by  
 右田春夫  
 ♪3.君と僕の未来 by マアルハート・バンドの3曲だったが、♪1.の世論小唄原発2024 (与論小唄)はジョニーさんのこぶしをかなり効かせた演歌調の音程で詞もそうだがその歌い方がさらにコミカルさを演出していきなり笑いモードの曲から始まった。  
 ♪2.の泳げ自民党(およげたいやきくん)は右田さんが時間に間に合わずジョニーさんが続いて歌ったが、やはりジョニーさんのコミカルな歌い方が笑いモード全開で展開された。  
 そして、この日本原電6人衆の定番曲と言ってもいい♪3.の君と僕の未来で最後は締めくくった。



今回の行動提起は久保さんが行った。それは、  
 今回の申し入れの盛り上がりは参加者の怒りと不安の表れだ。このような闘いを我々はこれから日本原電に突きつけていかななくてはいけない。  
 今後の行動予定は、まず来月7日(水)この原電前行動。みなさん、奮ってご参加して頂きたい。そして3月のこの行動はいつもより特別に盛大に行いたい。それと同時に3月は一斉行動・第11波も行う。これにもみなさん、奮ってご参加して頂きたい。  
 そして先ほど山崎さんに能登半島地震について話して頂いたが、このことをもっと詳しく具体的に、2月24日(土)、日本教育会館で単なる勉強会ではなく、学習討論会というかたちで行うので奮って参加して頂き意見を出して頂きたい。  
 というものだった。



そして最後はいつも通り中村さんにパワフルなシュプレヒ・コールで締めくくって頂き、このあと司会の‘閉会のことば’で第66回日本原電前抗議行動は終了した。



次回(第67回)の原電前抗議行動は、  
 2月7日(水)17:00～。  
 その後の東電前行動は18:45～。  
 3月の原電前抗議行動(第68回)は11日(月)17:00～。  
 その後の東電前行動は19:00～。  
 一斉行動・第11波は3月1日(金)～11日(月)が行動中心期間。  
 その前に山崎久隆さんをお呼びして行われる2.24学習討論会は2月24(土)13:30～、日本教育会館で行います。  
 みなさま、これらの運動すべてに奮ってご参加して頂き、原電を追いつめ、東海第二の再稼働を阻止しましょう！

